令和５年産「ゆめかおり」現地検討会を開催

県西地域を中心にパン用小麦「ゆめかおり」を栽培する「茨城パン小麦栽培研究会」は、きめ細かな肥培管理により、実需者ニーズに合った高品質な小麦づくりを実践しています。

「ゆめかおり」の生産規模の拡大と品質維持に向け、令和５年３月７日に「茨城パン小麦栽培研究会」と共催で現地検討会を開催しました。生産者15名のほか、県関係機関、取引先の製粉会社３社等21名の合計36名が参加し、高品質生産に向けた病害・雑草防除の講習と、現地ほ場で生育状況の確認を行いました。

今回の検討会では、令和４年作で発生の多かった小麦赤かび病の防除について、農薬メーカーを講師に招き、適切な防除のタイミングと薬剤の選定について学んだほか、農業総合センターの興津主任専門技術指導員から、近年問題となっている主要な雑草の適切な防除時期・防除方法について学びました。小麦赤かび病の防除は特に関心が高く、生産者からは薬剤の効果的な使い方や防除回数について数多く質問が出るなど、活発な意見交換が行われました。

続いてのほ場見学では、すでに茎立ち期を迎えたほ場の生育状況の確認を行い、今後の栽培の注意点を確認するとともに、各地域の生育状況について情報交換を行いました。

製粉会社からは、「研究会の小麦の安定した品質にはいつもお世話になっている。今後もこの品質を維持したまま生産して欲しい」と期待の声が聞かれ、生産者の生産意欲も高まりました。

普及センターでは、高品質安定生産を目指して、関係機関と連携し、今後も支援に取り組んでいきます。

令和５年３月15日　坂東地域農業改良普及センター　坂井　佳代子（成長産業）